

## 阪大解答物理

### 出題の意図

- I. 太陽を中心とする惑星の運動を例にとり, 大学教養課程で学ぶ力学に関して問う.  
II. 電磁場のポインティング・ベクトルを題材にとり, 大学教養課程で学ぶ電磁気学に関して問う.  
III. 理想気体の状態変化を例にとり, 大学教養課程で学ぶ熱学に関して問う.

### 解答例

I. 問1. (ア)  $\dot{\theta}$  (イ)  $-\dot{\theta}$  (ウ)  $r\dot{\theta}^2$  (エ)  $2\dot{r}\dot{\theta}$  (オ)  $r^2\dot{\theta}$

問2.  $\vec{e}_r$  平行成分  $m(\ddot{r} - r\dot{\theta}^2) = F$ ,  $\vec{e}_\theta$  平行成分  $m\frac{1}{r}\frac{d}{dt}(r^2\dot{\theta}) = 0$

問3.  $\dot{S} = \frac{1}{2}r^2\dot{\theta}$  式  $L = 2m\dot{S}$

問4. 運動方程式の  $\vec{e}_\theta$  に平行な成分は  $m\frac{1}{r}\frac{d}{dt}(r^2\dot{\theta}) = 0$  なので,  $r^2\dot{\theta}$  は時間に依らず一定.  $\dot{S} = \frac{1}{2}r^2\dot{\theta}$  なので  $\dot{S}$  も時間に依らず一定.

問5.  $m\left(\ddot{r} - \frac{4\dot{S}^2}{r^3}\right) = F$

問6.  $r = \frac{l}{1+\varepsilon\cos\theta}$  を時間微分して,  $\dot{r} = \frac{\varepsilon l \sin\theta}{(1+\varepsilon\cos\theta)^2} \dot{\theta}$  となる.  $r$  を代入して

$\dot{r} = \frac{\varepsilon}{l} r^2 \dot{\theta} \sin\theta$ . さらに  $\dot{S} = \frac{1}{2}r^2\dot{\theta}$  を代入し,  $\dot{r} = \frac{2\varepsilon\dot{S}}{l} \sin\theta$ .

問7.  $F = -\frac{4m\dot{S}^2}{l} \frac{1}{r^2}$

問8. 楕円の面積は  $a, b$  を代入して,  $\pi ab = \frac{\pi l^2}{(1-\varepsilon^2)^{\frac{3}{2}}}$ , 惑星の公転周期  $T$  はこれを  $\dot{S}$

で割ったものなので,  $T = \frac{\pi l^2}{\dot{S}(1-\varepsilon^2)^{\frac{3}{2}}}$  となる. ケプラーの第3法則より  $\alpha$  を惑星によら

ない定数として,  $\left(\frac{\pi l^2}{\dot{S}(1-\varepsilon^2)^{\frac{3}{2}}}\right)^2 = \alpha a^3 = \alpha \left(\frac{l}{1-\varepsilon^2}\right)^3$ , 整理して,  $\frac{\pi^2 l^4}{\dot{S}^2(1-\varepsilon^2)^3}$  となり,  $\dot{S}^2 = \frac{\pi^2 l}{\alpha}$

とわかる. これを問7の  $F$  に代入して,  $F = -\frac{4m}{l} \left(\frac{\pi^2 l}{\alpha}\right) \frac{1}{r^2} = -\frac{4\pi^2 m}{\alpha} \frac{1}{r^2}$  となり,  $F$  は  $m$

以外には惑星によらない物理量でかけることがわかる.

II. 問1. (ア)  $-\vec{H} \cdot \frac{\partial \vec{B}}{\partial t}$  (イ)  $\vec{J} + \varepsilon_0 \frac{\partial \vec{E}}{\partial t}$  (ウ)  $\frac{1}{2}\varepsilon_0 |\vec{E}|^2 + \frac{1}{2}\mu_0 |\vec{H}|^2$  (エ)  $\vec{E} \cdot \vec{J}$  (オ)  $\vec{E} \times \vec{H}$

問2. (1項) 体積  $V$  の中に蓄えられた電磁エネルギーの時間変化率

(2 項) 体積  $V$  中の電流に対して電場が単位時間にする仕事

(3 項) 閉曲面  $C$  を通して単位時間に出ていく電磁エネルギー

(式全体) 電磁エネルギーに関するエネルギー保存の法則

問 3.  $\frac{I}{\pi a^2 \sigma}$  問 4.  $r < a$  では  $\frac{Ir}{2\pi a^2}$ ,  $r > a$  では  $\frac{I}{2\pi r}$

問 5.  $\frac{I^2 r}{2\pi^2 a^4 \sigma}$  問 6.  $-\frac{I^2 L}{\pi a^2 \sigma}$

問 7. 問 6 の結果は閉曲面  $C$  を通して電磁エネルギーが流入しているという結果であ

る. 単位時間に流入するエネルギーの量は  $\frac{I^2 L}{\pi a^2 \sigma}$  であるが, 長さ  $L$  の抵抗線の抵抗

は  $R = \frac{L}{\pi a^2 \sigma}$  であるので, エネルギー量は  $RI^2$  となりジュール熱と一致する. この設問では,  $E$  と  $H$  は時間変化しないので, 体積  $V$  に流れ込むエネルギーは全て電場が電流にする仕事として消費される. この設問ではこの仕事は最終的にジュール熱となることを示している.

III. 問 1.  $Q = RT_1 \log \frac{V_1'}{V_1}$ ,  $\Delta S = R \log \frac{V_1'}{V_1}$

問 2. 第一法則より  $d'Q = dU + d'W = dU + pdV$  ( $W$  は気体にする仕事), 理想気体の内部エネルギー  $U$  は温度  $T$  にのみ依存し,  $dU = C_V dT$ , よって  $d'Q = C_V dT + pdV = C_V dT + d(pV) - Vdp$ . 理想気体の状態方程式  $pV = RT$  より,  $d'Q = C_V dT + d(RT) - Vdp = (C_V + R)dT - Vdp$ . 定圧比熱の表式より,  $C_p = \left(\frac{d'Q}{dt}\right)_p = C_V + R$ .

問 3. 第一法則と, 理想気体の内部エネルギーが温度  $T$  にのみ依存することより,  $d'Q = dU + pdV = C_V dT + pdV$ . 断熱過程では  $d'Q = 0$  より,  $C_V dT + pdV = 0$ .

問 4. 問 3 の式に理想気体の状態方程式を代入して  $C_V dT + pdV = C_V dT + \frac{RT}{V} dV = 0$ .

問 2 の式を用いて整理して,  $C_V \frac{dT}{T} + R \frac{dV}{V} = C_V \frac{dT}{T} + (C_p - C_V) \frac{dV}{V} = 0$ . 両辺を微分して

$$C_V \log T + (C_p - C_V) \log V = A \text{ (定数)}. \text{ 整理して } T^{C_V} V^{C_p - C_V} = A', \quad TV^{\gamma-1} = A'' \quad (\gamma = \frac{C_p}{C_V})$$

また,  $pV = RT$  より,  $PVV^{\gamma-1} = PV^{\gamma} = A'''$ . よって  $PV^{\gamma} = \text{一定}$ .

問 5.  $V_2 = V_1 \left(\frac{P_1}{P_2}\right)^{\frac{1}{\gamma}}$  問 6. (1) 0 (2)  $C_p \log \frac{V_1}{V_2}$  (3)  $C_V \log \frac{P_1}{P_2}$

問 7. エントロピーは状態量なので  $PV$  平面上の閉経路  $1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 1$  での変化は 0.

よって  $C_p \log \frac{V_1}{V_2} + C_V \log \frac{P_1}{P_2} = 0$ , よって,  $\left(\frac{V_1}{V_2}\right)^{C_p} \left(\frac{P_1}{P_2}\right)^{C_V} = 1$  となり,  $V_2 = V_1 \left(\frac{P_1}{P_2}\right)^{\frac{1}{\gamma}}$